



題字は松井岳洋筆

No. 425

平成26年10月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸1-7-28

Tel/Fax.0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

詩吟と家族の絆

副会長(兼)企画部長 上村 岳章



詩吟を生涯の趣味として自身に言い聞かせてすでに何年になるか、詩吟に巡り合い、詩吟学院の会員になってから、何年目かのある時この趣味は自身にとって一生の趣味になるのではないかと思うようになりました。

そんな自分を家族は果たしてどう思っているのか、と思うと少々疑問である。

よく聞く話に教室の指導者の先生が亡くなった後でご家族が故人の活躍ぶりを生徒の方々に聞かされ大変驚き「初めて知りました」等の話を聞きます。

今回の岳風忌には長年ご活躍された千葉岳関先生が合祀されました。

直会の席上で同じ合祀された方のご家族の方々のお話を聞くにつけ、生前の活躍やご家

族の理解が感じられて羨ましく感じられました。

家族との絆の太さは肉親としての絆の他に外での故人の活躍ぶりも何かにつけて家族にも理解して頂かないと、自分自身の人生の中で終焉を迎えるにあたり、何を成してきたのか、何をしたかったのか、何を成し遂げたのか、娘には理解してもらえないかもしれないが、一番身近な家族に知っておいてもらいたいと願うのは私だけでしょうか。

家族の方々の対応はそれぞれ違いますが、家族への理解と自分の思いを伝える方法は千差万別です。

是非ご家族を温習会や文化祭等に誘ってみて下さい、舞台での堂々と、あるいは華麗な姿を見ていただいたら、又見直されるかもしれません。

ご家族との絆を大切に思う今日このごろです。

行事予定

詩吟体験教室 Let's SHIGI ~ Ni

日時 10月18日(土) 13時30分~15時

場所 カトリック茅ヶ崎教会ヨゼフ会館101

第125回全国吟道大会

日時 10月19日(日) 開会9時30分

場所 三島市民文化会館

普及の為に吟詠発表会

日時 10月25日(土) 開会13時

場所 関東学院大学

鎌倉市詩吟舞連盟秋季大会

日時 10月30日(木) 開会10時

場所 鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉現代名吟鑑賞会)

現代名吟鑑賞会

日時 11月1日(土) 開会13時

場所 日本教育会館

葉山町文化祭

日時 11月3日(月) 開会13時

場所 葉山町福祉文化会館ホール

逗子市詩吟舞連盟秋季発表大会

日時 11月19日(水) 開会9時

場所 逗子文化プラザ・なぎさホール

神静地区吟道講座

日時 11月24日(月・祝)

場所 三島市民文化会館

碩心会吟詠と詩舞の集い

日時 11月29日(土) 開会10時15分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

碩心会夏季吟道講座

8月23日(土) 標記講座が葉山町福祉文化会館で開催されました。会長挨拶で外部講師の半間先生は玉峯吟詠会に所属し数年前に漢詩5名、和歌5名が選ばれる全国優秀吟者十傑に選ばれている旨の紹介がありました。

第一講、行谷隆岳先生により漢詩「半夜」「漫述」について、高音・中音・低音の音位、高低・強弱のアクセント、三、余韻、四、詩情等の四つについて、特にアクセントについて詳細に説明があり、斬新な講義との所見がありました。

第二講、上村副会長による俳諧歌「直ぐなるも」「降りながら」について指導があり、俳諧歌は和歌と同じ五七五七七の形態ですが、世の中を斜めに見ての題材で、吟じ方としては和歌でありながら俳句に近いやり方で、軽やかに詠じた方がよい旨の説明があり、素晴らしい吟詠とともに感銘を受けました。

第三講、外部講師半間岳雨先生による和歌「火に焼かれ」「白鳥は」について指導があり、火に焼かれの部分は序詠・本詠ともにしっかり母音を伸ばす、枯れぬ若桐の本詠部分は和歌らしく上げる等の指導がありました。

第四講、内山会長による近代詩「草枕」の指導があり、ユーモアを交えた説明と情感豊かな吟詠に感銘を受けました。

吟は正しく発音するアクセントも大切だ

が、吟全体としての吟じ方のイントネーションも大切であるの指導がありました。

質疑応答で、有友氏から半間先生に十傑になつた要因はの質問に、「私の声は地味で映えないし、玉峯吟詠会でも十傑にビックリしています。全国を指導しておられた恩師が6年前に死去され、以降心を入れ直して人の心に響く吟を目指して努力した事が入賞の原因と思っている」。常盤氏の伝段位の錬度に関する質問に対し、内山会長から『審査における伝段位の錬度は、技術的には受審することにより吟力は段階的に向上するが、精神的面では、例えば総伝は「最高伝位者に相応しい人格を有する」となっており、ここで言う「人格」とは何か個々に考えて欲しい』の応答がありました。

第五回 尚齒会神奈川吟詠大会

9月25日(木) 神奈川公会堂に於いて、標記大会が開催された。認可19団体の出場者は550名を超え、会場は尚齒会が標榜する**年輪響**の熱気に溢れ、出吟者の最高齢は97歳の女性との紹介に万雷の拍手。

午後の部に先立って、木部岳圭理事長が**特別企画「初心者指導・普及奨励のために」**と題して**富士山**の吟じ方を直々に講義され、一般会員にとつて滅多にない機会を得た。挨拶

の中では「独吟は所属する団体の吟力を表わし、合吟は心を表わす」と言及、この心構えは、示唆に富む言葉と強く心に受け止めた。常盤

第二回 全国青年吟道大会に出吟して

相洋支部 松浦みづき



平成26年8月9日(土) 東京の小岩アーバンプラザで開催されました。同世代の人から青年OBまでの幅広い

年齢の方が全国から集まり、私は初めての出吟で楽しみの中にも緊張した気持ちで参加しました。

いよいよ独吟が始まり、私は3番目に出吟し全国の会員の前で吟じることができ、とても良い経験となりました。

私は、最年少での参加でしたが沢山の先輩の吟を聞くことができ様々なことを学びました。たとえば、息継ぎ、一つの言葉なら続けて、二句三息できちんと吟じていたこと。また、同じ節調でも吟者によつて様々な吟じ方があるのだと。これからの自分の練習に良い刺激となりました。

青年の独吟のほか、構成吟や過去に全国優秀吟者の大会に出場した方の素晴らしい吟も聴くことができ、私にとつてはとても充実した大会でした。今回は多くのことを学ぶことができたので、これからの自分の吟に生かしながら先輩のような優秀な吟者になりたいと思います。

ホームページ便り

解析ツールを使ってホームページの見直しをしています。

8月の解析結果ではアクセスしている地域として神奈川県(150)、栃木(41)、東京(33)、愛知(17)、千葉(14)、長崎(10)等広範囲であることが分かりました。中国、フランス、ロシアでの閲覧も記録されています。

図に示す直帰率(1ページ閲覧後、離脱してしまうユーザーの割合)は、40%未満になっているのが理想とされています。若干オーバーしているのですが、コンテンツやデザインを見直す時期に来ているものと思われれます。

新規訪問率が50%を下回っています。詩吟に限定されたりピーターが多いということを示しています。

これを期に詩吟を通して広く興味を共感し合えるような魅力あるコンテンツに仕上げ、新規訪問率アップを目標に掲げて行こうと思います。

森

訪問回数	313
ページ閲覧数	2,121
新規訪問率	40.26%
直帰率	44.09%



『レッツ詩吟』横浜にて初開催

幸和支部 鴨原隆岳

「今まで逗子や葉山で開催してきたが、一度横浜でもやれないだろうか」

普及部からの要請を受け、7月19日午後1時より横浜市東戸塚地区センターにおいて、「詩吟体験教室(レッツ詩吟)」が開催された。上村岳章講師から漢詩「名槍日本号」和歌「白鳥は」について、懇切丁寧な指導が行われた。講師の手書きによる詩文・画、特に澄み渡る空の青さにも海の青さにも染まることなく漂う白鳥の姿には心癒された。

大きな声を出すことによつてストレスが発散できる。腹式呼吸により健康増進に役立つ。漢詩・和歌・俳句・近代詩等、先人の残した優れた文化に接することができる。教養が自然と身に付く。吟詠大会はじめ各種行事を通じて、親しい仲間との出会いがある等、よくあげられる詩吟の効能である。私は時間や場所を選ばず、いつでもどこでも声が出せ、荷物にならないのが最大の長所だと思っている。当日参加された初心者4名の方の心には、詩吟がどのように届いたのだろうか。この詩吟体験教室が詩吟を始めるきっかけになつてくれればと願っている。

葉山の南郷中学校で詩吟体験

青少年部長 加藤岳美



去る7月10日、南郷中学校で詩吟体験学習が行われた。同校の福祉教育の一環として地域の人達との交流を深める目的で、葉山町の20団体の各グループが参加した。詩吟は2年生の男子4名が出席。はじめに国語の教科書で習いはじめた「春望」を加藤岳洵先生が指導。漢詩の歴史、杜甫の人物像、訓読の為の送り仮名、反り点(レ点、一・二点、上下点)等の説明をし、吟詠を指導した後、春望のDVDで情景描写を鑑賞、詩情を感じ取った。次に「奥の細道より平泉」を上村岳章先生が指導。「春望」からの引用文等の説明をし朗詠指導した。最後に受講生4名の自作の俳句を披露してもらい、上村講師が符付をし朗詠法を勉強した後に、一人ひとりが発声し自作の俳句を声を出して朗詠する事の新鮮な喜びを感じ取ったようでした。

雅号の由来

やよい支部 菊池世岳

初めての詩吟を聴いたのは、入学した高校のクラブ紹介での事。漢詩を朗々と吟じる先輩諸氏の姿と、伝統文化に触れる魅力に入会を決意。およそ詩吟とは結びつきそうもない細く小さい声からの出発でした。

優しい師、楽しい練習。比して厳しかった昇段審査。絶句〓吟終了、安定しない吟〓強制終了。張り詰めた空気の漂う審査会でした。吟じ通せても昇段出来ない人も、との話。

然し、雅号は会長が思いを込めて各々に授けて下さいました。奥伝に昇伝時、私は「大丈夫、頑張れ!」との言葉と共に「興世」の雅号を頂戴しました。

四つの流派を経て辿り着いた「岳風会」。流派は違えど、初心忘れず』との思いから、岳風会にて奥伝に昇伝の折、再び、「世」の文字を使わせて頂きました。

吟詠の難しさに悪戦苦闘の日々ですが、それに勝るのは『吟じる醍醐味』です。

これより先は、詩情をより深く表現出来ることを目標とし、通算20年に及ぶブランクを埋めて参ります。大勢の皆様と共に、大好きな詩吟の世界に浸ってみたい私です。

第34回 碩心会温習会 会計報告

科 目	決算額	摘 要
収入の部		
出 吟 料	160,000円	1,000円×160名
懇 親 会	119,000円	1,000円×119名
大会補助金	60,000円	本部より補助金
合 計	339,000円	
支出の部		
会 場 費	28,545円	ホール、大会議室、設備使用料
弁 当 代	109,946円	弁当、お茶
飲 食 費	63,494円	飲み物、ピザ、寿司、その他
プログラム	38,979円	プログラム 250部
コンクール経費	20,324円	表彰状、詩文集、参加賞
傷 害 保 険	4,320円	
文具・印刷費	7,216円	コピー、事務用品
雑 費	37,789円	会議費、会場費、運送費、交通費
本部会計返金	28,387円	
合 計	339,000円	

“みんな”で増やそう新会員

会 員 の 動 き

- *入会 (8月1日付)
 - 230 作山ミツ (真澄) 紹介者 小俣信子
さくやま
 逗子市久木 8-12-11 電話 046-872-0316
- *入会 (9月1日付)
 - 231 金子笑美子 (幸和) 紹介者 本多菊泉
かねこえみこ
 横浜市港南区丸山台 3-30-1 電話 045-843-5322
 - 232 雲居隆栄 (真名瀬) 紹介者 鈴木岳賢
くもいりゆうえい
 横須賀市武 3-17-12 ネアポリス湘南 909 電話 090-1532-1566
 - 233 小林ふみ (真名瀬) 紹介者 普及部
こばやし
 葉山町一色 2444-5 ルックハイツ 307 電話 046-875-4992
 - 234 清水淳子 (渚) 紹介者 原田岳義
しみずじゅんこ
 逗子市桜山 5-12-10-402 電話 090-7013-1114
 - 235 北本綾子 (渚) 紹介者 伊藤琴泉
きたもとあやこ
 横浜市栄区野七里 2-9-17 電話 045-893-3016
 - 236 中谷恵子 (渚) 紹介者 伊藤琴泉
なかやけいこ
 横浜市金沢区能見台 5-61-1-301 電話 080-1091-5691
- *退会
 - 31 水上岳昌 (真澄) 169 有田暢泉 (渚)
 - 172 白石雅山 (渚) 181 鳥袋泰成 (相洋)
 - 191 永田穂泉 (長柄) 209 関水滄岳 (一色)

編集後記

テニスの全米オープン戦で日本人初の準優勝を果たした錦織選手、試合後の会見で「決勝の舞台で力を出せなかったのは悔しい」との発言に「無心」で戦うことの難しさを痛感した。

秋には「吟詠と詩舞の集い」をはじめ様々な大会が開催されます。詩の心も無心に一杯詠じたい。
 広報部

26年9月1日現在会員数
 葉山地区 72名
 逗子地区 116名
 合 計 188名